

- 【出席率】 会員58名中45名
【先々週の出席率】 94. 12%
【ゲスト】 三条市議会議員
杉井 旬様
- 【先週のメイクアップ】
- 4/30 燕RCへ 野島廣一郎君 佐々木常行君
5/7 燕RCへ 星野健司君 武藤昭三君
西巻克郎君 野島廣一郎君
佐々木常行君
- 5/9 米山奨学生オリエンテーション(新潟)へ
馬場信彦君 佐藤秀夫君
星野健司君



会長挨拶

佐藤 嘉男 会長エレクト



本日は、吉井会長が出張のため、私が挨拶させていただきます。

ゴールデンウィークいかがでしたか？

私の知っている会社は、17連休がありました。高速道路 上限1000円のため、今年のゴールデンウィークは、少し違っています。

渋滞が昨年の2倍となり、神戸淡路鳴門道 上りでの68kを筆頭に、九州道 上りで48kと30k以上の渋滞が58回あり、本県でも昨年1カ所もなかった10k超の渋滞が9カ所でした。観光地やGSには経済効果があったでしょうが…。

JRは前年比6%減となり、京都議定書のCO₂輩出には、相反するものと思われ、2年で数千億のばら撒き以外何もないと思っています。

土曜日 TVを見ていたら、報道特集でNICUのことをやっていました。実は、昨年生まれた私の孫も、長岡赤十字病院でNICUのお世話になりました。3月5日1200gで生まれたのですが、5月14日には3000gを超え、無事退院ができ、今は8kを超え、すくすく成長しています。ただベッド数が少なく、3病院のみで、娘の隣のベッドは、福島の子供でした。国は現在10,000人に対して20床を25床に増やす計画だそうですが、1床につき年間費用で補助金114万円があっても、745万円の赤字だそうです。未熟児の“命のベッド”でもあるNICUに予算を付け、生まれてくる子どもを守ることこそ重要だと思います。

定額給付金も含め、選挙のための予算ではなく、景気回復も含め、より重要と思われるところに私達の税金を使ってほしいものです。



国際ロータリー会長 李 東 建 [韓 国]
第2560地区ガバナー 馬 場 信 彦 [三 条 南]
第4分区AG 古 井 辰 禱 [吉 田]
会 長 吉 井 正 孝
幹 事 鈴 木 圀 彦
S A A 野 中 悟

事務局
〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内
☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095
E-male info@sanjo-minami.jp
URL <http://www.sanjo-minami.jp>

幹事報告

鈴木 圀彦 幹事

●地区青少年交換委員会より 「一年交換学生募集」のご案内

2010～2011 年度一年交換学生募集要項

- ・派遣先 アメリカ ドイツ ブラジル タイ 他
- ・資格 15～19 歳の出発時高校在学中の者
学業成績が中位以上、心身共に健康で一年間の外国生活に適応でき得る
来日学生の受入れ家庭となる
- ・受付期間 10 月末日
- ・派遣時期 2010 年 8 月下旬予定

●越後魚沼 RC より 社会福祉チャリティ「2009 年春の宵 シャンソンの夕べ」開催のご案内

- ・日時 2009 年 5 月 24 日 (日) 18:00～
- ・会場 魚沼市小出郷文化ホール
- ・入場料 2,000 円 ※チケットご希望の方は事務局へ

理事会報告

2009 年 5 月 11 日 12:10～ 於：例会場ロビー

- 新会員候補者の推薦について・・・承認 → 全会員に諮る
- ロータリー財団国際親善奨学生 (3 ヶ月文化研修コース) 申請者の推薦について
申請者 (ガバナー事務局員 五十嵐梨絵さん) の推薦を承認
→ 6 月 1 日までに面接を行い、植木ガバナーエレクト事務所へ書類提出。
8 月中旬地区選考試験の予定
- 木原崇会員、病欠による休会について・・・承認

出席率向上にご協力お願い致します

西巻 克郎 出席委員長

例会を欠席された場合には、前後 2 週間の間他クラブへのメイクアップ、また、例会変更クラブは記帳にて欠席の補填ができます。

当クラブは創立以来 40 年間、年間平均出席率 90%以上を維持して参りました。(40 年間平均出席率：93.62%) しかし、今年度は 12 月より、月出席率が 90%を満たさない状況となっております。(7 月～3 月平均出席率：90.25%)

5 月、6 月は 100%となるよう、どうぞ、クラブの伝統である 90%以上の出席率を維持すべく、ご協力をお願い申し上げます。
クラブの活性化の為に出席率の向上に何卒ご協力をお願い致します。



馬場 一敏 ロータリー情報委員長

『友』5 月号横組 P 22～23 に 2560 地区たより「地区社会奉仕活動の歩み」(鈴木武地区ロータリーの友委員編集)、馬場信彦ガバナーのわが地区自慢「経済効果は『天地人』から」が掲載されています。どうぞご一読下さい。

ココロボックス

～・ 5 月 11 日 27,000 円 今年度累計 910,894 円 ～

佐藤(嘉)君 本日は吉井会長出張のため代理を務めます。よろしく願い致します。
杉井市議、卓話楽しみにしております。

鈴木(圀)君 ①入院中の木原会員のお見舞いに吉井会長と行って来ました。急な病気で真に残念です。
②本日の卓話、市議員の杉井様 よろしく願い致します。

坪井君 杉井さん、卓話ご苦労様です。市議会での活躍を祈念しております。

草野君 長谷さん、杉井さん、卓話楽しみにしています。

安達君、坂井(栄)君、田代君、銅冶君、野崎君、野中君、若井君
杉井さんを歓迎して。卓話ご苦労様です、楽しみにしております。

馬場(信)君 『ロータリーの友』5月号23頁に「ガバナーわが地区自慢」が掲載されています。22頁には鈴木武さんの地区だよりが掲載されています。是非読んで下さい。

武藤君 バラの花いただき有難うございました。

西巻君 出席委員会よりのお願いをさせていただきます、ご協力願います。BOXに協力。

星野君 先週の地区米山奨学委員の歓迎会では馬場ガバナー、佐藤秀夫さんに大変お世話になりました。

嘉瀬君 昨日、午前10時頃、結婚記念のバラが届きました。早速花瓶に入れて玄関先に置いたところ、家内が帰宅して大変喜びました。

佐藤(栄)君 一年中で一番の季候、次から次へと花が咲き乱れるよう、心がはずみます。

田中(悌)君 晴れの日が続きます。お祭りも晴れるといいですね！

吉田(秀)君 今日は早退して加茂の食研へ。杉井先生のお話を聞けなくて残念です。来週は欠席して立川病院でCT検査です。

渡邊(光)君、渡邊(久)君、馬場(一)君、大原君、大溪君 BOXに協力致します。

広岡君 大勢の皆様よりBOX協力いただきました。ありがとうございました。



「地方分権と三条市議会」

三条市議会議員 杉井 旬 様



日頃より地域の発展と福祉の向上にご尽力いただいているロータリアンの皆様へ、市民の一人として心より感謝申し上げます。また本日はこのような機会を与えて頂き、ありがとうございます。私は地方分権が徐々に進んできた結果、市町村の役割が重要になってきたこと、それに合わせて市議会も変化が求められていることについて話させて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

1. 上下・主従関係から対等・協力関係へ

かつて市町村の仕事の6、7割は、機関委任事務という国から言われたとおりにしなければならない国の下請け仕事でした。市長は大臣の地方機関といった位置付けで、機関委任事務に関して市議会は関与すらできませんでした。それが95年の地方分権推進法、2000年の地方分権一括法の施行によって機関委任事務が全廃され、法定受託事務となりました。補助金や交付税、許認可権などによって依然、国と地方の力関係は圧倒的に国が強いことには変わりはありませんが、法的には上下、主従の関係から対等、協力関係に変わりました。市長は各大臣の命で働く営業所長から、協力会社の社長に変わったようなものです。

その分、地方の裁量も増え、地方が独自に上乘せしている行政サービスも増えました。北海道の夕張市が財政破綻し、財政再建団体となったのはご承知の通りです。市の上乗せサービスができないため、保育料の最高額は三条市が月額45,300円なのに対して夕張市は80,000円です。夕張市民は本当に大変だと思います。三条市も昭和31年から37年まで財政再建団体でしたが、市民生活への影響はいまの夕張ほど大きくはありませんでした。地方の裁量が増えた結果、自己責任も大きくなったということだと思います。

2. なぜ役所仕事が起こるのか

市役所の仕事はすべて、予算と条例に基づいて行われています。逆に言うと予算や条例がなければ市役所は動きません。その予算や条例を決めるのが市議会なのですが、議会は年に4回、3月、6月、9月、12月しか開かれませんが、大相撲より少ないのです。民間なら、例えば3月の納期に間に合わなければ残業して4月早々に納品しようと努めます。しかし役所はお客様、つまり市民からこういうサービスをしてほしいという発注があっても、納品、つまりサービス提供は3月に間に合わなければ次の6月議会で予算や条例を決めてから動くこととなります。それも間に合わなければ半年後の9月。下手をすると1年後の来年度当初予算でとなってしまいます。よく役所の職員はひまそうにしていると言われますが、それは動きたくても動けないシステムになっているからという面もあるんです。

子育て支援策に児童クラブというものがあります。保育所のころは朝から夕方まで子どもを預けておけるので親御さんは安心して働けるのですが、小学生になると下校は午後2時、3時になり、夏休みや冬休みは一日中家にいることとなります。お母さんが仕事を休んだり、パートを辞めたりしなければならないと困るので、放課後や長期の休み期間中、子どもさんを預かるのが児童クラブです。これを設置するにあたり、

準備の都合で6月定例会での条例制定が間に合わない地域がありました。だったら7月に臨時会を開いて条例を整備すれば夏休みに間に合うのですが、市は次の9月定例会まで待ちました。夏休みにこそ必要な施設なのに、9月から準備を始めるわけです。

民間なら、こんなことをしていたら倒産します。役所だけはそれが当たり前になっています。地方自治法の改正で定例会は年4回に限らず、いくらでも開けるようになりました。一年中でもよくなりました。役所仕事をなくし、市が市民要望にスピーディーに対応するには議会から変えなくてはならないと思います。

3. 二元代表制なのに市民ニーズは一元集約

国は国民に選ばれた国会議員が内閣を造る一元代表制ですが、市町村は首長と議員、いずれも選挙で選ばれる二元代表制です。どちらも民意を代表していることになっているのですが、市長は千人もの職員を使って組織的に民意がどこにあるかを確かめます。自治会長さんがまとめる地域要望も市長のもとに集まります。市長へのたよりといった制度もあります。これに対して現在29人いる議員はそれぞれ自分ひとりで市民の間を回り、民意を集めています。A案とB案、どちらが民意に沿うのか、首長と議会のどちらが民意を正しく把握しているのかといった議論になると、いわば千人規模の企業と29の個人商店が対決しているような形となります。情報量の差は圧倒的です。議会も個人商店の集まりではなく、組織として民意を把握する仕組みづくりが必要ではないかと思います。

4. 株主総会から取締役会へ

議会はこれまで、執行機関の監視役、市長のチェック機関としての機能が最重視されてきました。市長の行き過ぎ、あるいは怠慢をチェックすることが議会に求められるもっとも大きな役割でした。しかし分権が進み、地方同士の競争が激しくなった現在、議会は監視機能に加えて、政策や予算を決定する機関としての責任や、問題を提起したり、政策を提案する能力が求められています。政策によって都市間格差が広がる時代に入ったのですから、議会の位置付けも変わって当然です。

先ほど話した夕張市は、標準財政規模の1.4倍もの負債を抱えて破綻しました。この膨大な債務があることを最初に指摘したのは北海道新聞で、議会ではありません。財政破綻の責任は市長だけでなく、放漫財政を放置してきた議会にもあります。

企業に例えると、これまでの議会はどちらかというと株主総会のような存在でした。役員決定権を握り、意見や要望を言うことはあっても、経営責任は役員にありました。これからの議会には取締役会のような役割が期待されています。政策を決めるとともにその責任も負う存在です。市長とは緊張感を持った協力関係を保ち、陳情ではなく政策提言をする機関にならなければ地域間競争に勝ち残れないのではないかと思います。

地域への強い影響力を持ったロータリーの皆様には、今後も議会のあり方についてご指導ご支援を心からお願い申し上げます。つたない私の話を聴いてくださったことに感謝申し上げ、卓話を終わらせて頂きます。本日はありがとうございました。

ROTARY NEWS

2. 「後に続いてほしい」 — ロータリアンから1億円の寄付！



ハイライトよねやま 107

「ハイライトよねやま」は、毎月1回発行している
ロータリー米山記念奨学会のニュースレターです。
〈秋のロータリー米山記念奨学会
2009年1月14日発行



昨年12月半ば、名古屋名東RC会員の坂本精志氏より1億円のご寄付を頂きました。経営するホンザキ電機株式会社(本社:愛知県豊明市)の上場にあたり、氏は株の売却益の一部を日頃から関心を寄せる団体に寄付。その一つに米山奨学会を選ばれました。

坂本氏はこれまで米山奨学生のカウンセラーを二度務められたほか、博士課程に進学した学友を援助するなど、外国人留学生の支援に熱心に取り組んでこられました。創業者であり、ロータリアンであった父の薫俊氏(故人)が、出身地の島根で進学困難な学生を支援していたことや、ご自身もロータリアンとして、勉学に勤しむ外国人留学生と関わる体験を得て、米山記念奨学事業への関心を深めたと言います。

「米山は、経費も最小限に抑えているし、多くの方がボランティアで熱心に事業を行っている。また、資金を投機に回さず、地道に使っていることも好ましい。上場を機に、おすそ分けの気持ちで寄付しました」と坂本氏。本来は匿名で寄付したいと、今回も含めてこれまで表彰品はすべて辞退されていますが、「後に続く人が出てほしい」とのお気持ちから、今回記事として紹介することをご了解いただきました。